



東京音楽大学 (TCM)、Bunkamura (東急文化村)

において民族楽器を展示&ミニ演奏会を開催

— 産学連携をスタートさせる —

2019年1月15日
学校法人東京音楽大学

東京音楽大学(東京都豊島区 学長 野島稔)は、2018年12月28日(金)よりBunkamura 1階ロビーラウンジ特設スペースにて、本学附属民族音楽研究所所蔵の民族楽器の展示を始めました。展示期間は1月27日(日)までで、1月20日(日)には、講師によるトークと民族楽器のミニ演奏会も開催されます。

本年30周年を迎えるBunkamura(東京都渋谷区)は日本初の大型文化複合施設で、今後世界各国の民族楽器や音楽を紹介していきます。初回はアイヌ伝統楽器の「トンコリ」とクルグズ(キルギス)共和国の三弦楽器の「コムズ」の2種4点を展示します。

なお20日の演奏会は入場無料。演奏会後は楽器に触れることができる体験会も予定されています。

詳しい情報はこちらから <http://www.bunkamura.co.jp/topics/1998.html>

東京音楽大学附属民族音楽研究所 <http://www.minken1975.com/about.html>

本件に関するお問い合わせ先

東京音楽大学附属民族音楽研究所

こびなた ひでとし
小日向 英俊

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷 3-11-1

TEL : 03-3981-8783 FAX : 03-5950-1831

kobinata_hidetoshi@tokyo-ondai.ac.jp